

兵庫県立西宮病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年11月 策定

【1. 現状と課題】

「新県立病院改革プラン」（平成29年3月）参照

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

阪神南圏域の中核的な病院の一つとして、がん医療、脳血管疾患医療、糖尿病医療、周産期及び小児医療の高度専門医療ほか、臓器移植実施施設として総合的な腎疾患の高度専門医療を担っていくとともに、病院群輪番制病院として2次救急医療や、救命救急センターにおける3次救急医療の提供、地域災害拠点病院・兵庫DMAT指定病院として、阪神南圏域の救急・災害医療を担っていく。

また、阪神南圏域の高度急性期・急性期の医療機能を担っていくなか、高度急性期病床が不足している阪神北圏域との圏域統合を視野に入れつつ救急医療を中心とした適切な医療機能を担っていくほか、今後、医療需要が高くなると見込まれる悪性腫瘍をはじめ、消化器系・呼吸器系、外傷・熱傷・中毒、神経系、循環器系疾患に対応するための機能強化を図っていく。

さらに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域のかかりつけ医や介護保険事業者等に対する後方支援病院としての役割を担い、各機関との情報共有のあり方や受入方法の確立、地域包括ケア病床を有する医療機関との後方連携を円滑に進めるほか、高齢者特有の問題（認知機能障害、フレイル、低栄養、身体機能障害等）に適切に対処するため、特定疾患に対する臓器別診療から高齢者に対する総合的な診療を行う総合診療機能を強化する。

なお、現在、西宮市立中央病院とのあり方について、兵庫県と西宮市で検討委員会の報告を踏まえ、県と西宮市で検討が行われているが、平成29年3月の兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の検討報告書では、「両病院を統合し、新用地に新病院を整備することが最も望ましい」との結論が出され、統合に当たって留意事項として、統合による新病院では、両院が果たしてきた役割を引き継ぐことや、先進医療に対応できる病院を目指すこと、さらには阪神北圏域の2次救急医療機関との役割分担と連携、3次救急医療の充実などが挙げられている。

② 今後持つべき病床機能

引き続き、阪神南圏域の中核的な病院の一つとして、高度急性期・急性期の医療機能を担う。ただし、今後、兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会の報告を踏まえ、県と西宮市で検討を行うこととしており、結果によっては変更になる場合がある。

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	23	→	23
急性期	377		377
回復期	0		0
慢性期	0		0
(合計)	400		400

※ 将来については統合がなかった場合。統合されることになれば変更となる場合がある。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> 集中的な検討を促進 2年間程度で </div>
2018年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 兵庫県と西宮市の検討の結果、統合されることとなれば、その後の年次スケジュールが策定される。 </div>		
2019～2020年度			<div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> 第7次医療計画 </div>
2021～2023年度			<div style="border: 1px solid black; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> 第8期介護保険事業計画 </div>

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科、外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科	→	内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科、外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科
新設		→	総合診療科
廃止		→	
変更・統合		→	

※ 将来については統合がなかった場合。統合されることになれば変更がある。

<具体的な方針及び計画>

(統合がなかった場合)

- ・ 今後、超高齢化社会を迎え、高齢者の救急患者が増加するなか、多くの基礎疾患を有する高齢患者への対応を図るため、総合診療科を新設する。
- ・ 人員は募集中

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：86.9% (32年度計画ベース)
- ・ 手術室稼働率：設定なし
- ・ 紹介率：80.0% (32年度計画ベース)
- ・ 逆紹介率：75.0% (32年度計画ベース)

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：61.7% (32年度計画ベース)
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：設定なし

その他：特になし

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【その他】

(自由記載)

特になし